

— 市民がつくる市民のための地域環境情報誌 —

エコライフみしま



第 12 号
2008/10/15

知っていますか？

市の鳥「かわせみ」市の木「いちよう」市の花「三島桜」



- 特集「マイバッグ」、お江戸でござる（風呂敷でエコライフ）・・・P2、3
- 環境活動紹介（エコリーダーの地域環境活動）・・・P4

レジ袋から
マイバッグへ！



10/15～ 市内スーパーのレジ袋が有料に*

| | |
|---------------------|-----------------|
| マイバッグ いつでも使えて エコバッグ | 中郷小 4年 北村しおり さん |
| マイバッグ 使って未来を守ろうよ | 佐野小 6年 平田 華 さん |
| 買物の おともはいつも マイバッグ | 北上小 6年 佐藤 愛恵 さん |

(小学生環境探偵団で募集した標語の一部を紹介します。)

※すべてのスーパーではありません。詳しくは広報みしま9/15号で確認してください。

エコな買物はマイバッグから

いよいよ三島市内でも10月15日からいくつかのスーパーでレジ袋の無料配布中止（有料化）が始まります。「いままでタダだったのに…」と思う方もいるのではないのでしょうか。でも、このレジ袋の無料配布中止がマイバッグの持参、そして、環境にやさしい買物が広がるきっかけになれば、とてもいいことだと思います。

インタビュー：三島市買物袋持参運動推進協議会会長 山口 博 さん

全国的にマイバッグ持参・レジ袋有料化の気運が高まってきましたが、三島市買物袋持参運動推進協議会の山口会長にお話をうかがいました。

Q：三島市では平成11年度という比較的早い時期から推進協議会が出来て、買物袋(マイバッグ)持参運動を進めてきましたが、マイバッグ持参率がなかなか上がらなかった原因はどこにあったとお考えですか？

A：マイバッグ持参率を上げている東京都杉並区や掛川市などでは、行政が主体となり事業者と消費者がそれに応えて、三者一体となって取り組んでいます。三島市では三者の意志がなかなかひとつにまとまらなかったということでしょうか。

Q：推進協議会の活動方針は？

A：5月の総会で、2010年度までにレジ袋使用量を50%削減、マイバッグ持参率を50%まで向上させる「ノーレジ袋・マイバッグ持参（50・50＝ゴーゴー）運動」を展開することを決めました。また、その際にも有料化を進めていくべきだとの意見が出されました。

事業者の皆さんへは「レジ袋は必要ですか？」の声掛けを、買物をされる皆さんへは「レジ袋はいり

ません！」の一言をお願いしたいですね。

Q：推進協議会では今後どのような取組をされる予定でしょうか？

A：昼間買物をする女性の中にはマイバッグを持っている人が少なからずいます。夜買物をする男性にも持ち歩きし易い、コンパクトにたためるマイバッグを普及させたいと思います。みんながマイバッグを持つようになれば底辺が広がり、持参率が上がりますよね。

また、マイバッグ持参の運動を盛り立てるようなのぼり旗を立てるようなしたいと思います。



山口会長
常にマイバッグと風呂敷を持っているそうです

マイバッグ、持参する人・しない人？

編集スタッフが身近な人たちに聴き取り調査を行いました。その結果、持参している人は約50%で

- ・ごみを減らすため
- ・温暖化を防止するため
- ・石油資源の節約のため

などがその理由でした。

また、持参していない人は約40%で

- ・レジ袋の利用価値(ごみ入れ、雨具入れ等)が高い
- ・面倒なので
- ・万引きと間違われそう

といった理由でした。

その他、地球環境のことが頭をよぎったときに持参するといった人が10%でした。

地域ぐるみの取組は大義の共有が必要（県内での取組紹介）

県内各地でもレジ袋を有料化する動きが広がってきています。すでに掛川市、島田市、磐田市、袋井市、森町、御殿場市、浜松市、御前崎市、牧之原市、菊川市、静岡市、川根本町で消費者団体と自治体、スーパーなどの事業者の3者がレジ袋の無料配布を中止する協定を結び、レジ袋の削減に取り組んでいます。

なかでも掛川市は、昨年7月から市内全域でレジ袋は1枚約5円の有料になっており、マイバッグ持参率もレジ袋の有料化に伴い、37.6%から93%へと飛躍的に伸びたそうです。

東部地域においても、御殿場市で「ごみ減量大作戦」と銘打って、レジ袋の有料化と生ごみ処理機普及に取り組み始めました。東部では三島市がこれに続くことになりました。

このような運動も地域ぐるみで行わなければ、うまくいかないようです。何より、その地域における市民、行政、小売店の3者が「ごみや二酸化炭素を減らすために協力する」という大義を共有することが必要です。

消費者の意識が「タダならもらっておこう」から「いらぬ物はもらわなくてよい」に変わることが必要でレジ袋の有料化を通して、地球にやさしい行動が今、求められていると思います。

スーパーマーケットの取組

今回協力していただいたのは「エッグマート松本店」の店長、田神正雄さんです。

Q：レジ袋無料配布の中止が始まりますが、来店するお客さんにはどのようなPRをしていますか。



A：店頭での貼り紙や看板を立てることと、店内放送を頻繁に行っています。

Q：店として心配なことはありますか。

A：三島市以外のお客様にもご理解が得られるかが心配です。マイバッグを持ってこないお客様が、どれだけこの運動を理解し協力していただけるか、レジでのトラブルを極力避けたいです。

Q：消費者や行政に望むことはありますか

A：買物の際、品物は店のかごに入れ、レジを通ってからマイバッグに移してもらいたいです。

また、この取組は環境のために決まったもので、レジ袋で収益が出た場合には環境活動に使うことにしています。お客様に納得してもらうためにも行政



には積極的にPRしてほしいです。

※取材を終え、この運動は、市民の強力な支援なしでは成功しないと感じました。

「中身」だけが買えるお店

ばら売り、はかり売りで「中身」だけを買うシンプルな買物ができるお店を紹介します。

・辻豆腐店（中央町）

容器を持参すると、豆腐を5円引きしてくれます。

・増田屋（本町）

手作り佃煮や多種の豆類などを、はかり売りしてくれます。

・渡辺商店（大宮町）

伝統を守った手作りの味噌・しょう油・金山寺味噌などをはかり売りしてくれます。しょう油はボトルを持参すると値引きしてくれます。

環境クイズ

空欄にあてはまる言葉を下から選び、環境にやさしい買物のコツを完成させましょう。

- ①レジ袋を断り、を使う
- ②必要なものをなだけ買う
- ③はできるだけ少ないものを選ぶ
- ④再生紙のトイレトーパー等品を選ぶ
- ⑤の有無をチェックする

マイバッグ・再生・必要・環境ラベル・包装

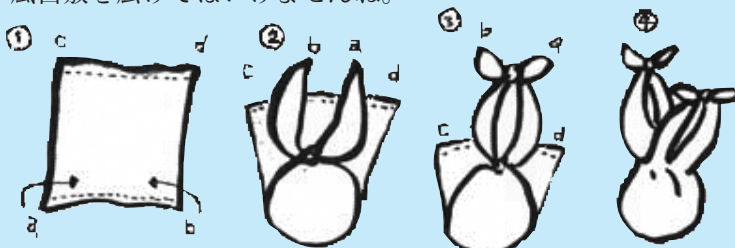
…クイズの答えは次ページ下にあります。



お江戸でござる 風呂敷でエコライフ

今、スーパーなどでレジ袋の有料化が広がっていますね。さあ、あなたならどうしますか。マイバッグ？それとも風呂敷？

江戸時代から近年まで風呂敷は物を包んだり、運んだりする道具として広く使われてきました。布地でやわらかく、どんなものでも包めるし、たたんでコンパクトになり、何回でも使えて経済的、趣味に合わせた色柄を選んで楽しめます。そして、天然の繊維のものなら使い切ったらポロボロになり、お役ご免となったら、土の中に埋めれば自然に分解されて土に還ります。こんなすばらしい知恵袋、「風呂敷」を今こそ大いに活用しようではありませんか。でも、大風呂敷を広げてはいけませんね。



ふろしきのバスケット包み

- ① a と b を持つ
- ② a と b を 1 回結び
- ③ a と b で輪を作り、先端で結び
- ④ 同じように c と d を結び



包み方 出典：「レジ袋いりませんハンドブック」（ふろしき研究会） イラスト：森さつき

環境活動紹介 エコリーダーの地域環境活動

北上

- ・地域花壇づくり (通年)
沢地川流域 (沢地小近く)



(6/18 植付け作業)

この夏はヒマワリ、コスモス、ポチュラカ (写真右)、サルビア、マリーゴールドなどを植えました。

旧市内

- ・環境パトロール (毎月第2土曜日)



毎月コースを変えてごみ拾い活動をしています。地域の小学生も参加してくれます。

(8/9 広小路駅前)

みなさんも地域での環境活動に参加しませんか。
お問い合わせは下記、環境政策課へ

錦田

- ・山田川ホテル観察会 (6/1)
- ・山田川流域自然観察マップづくり (継続)
- ・拾えば街が好きになる運動への参加 (8/15)



夏祭り会場でごみ拾い活動に参加しました。

(8/15 三嶋大社前)

中郷

- ・パサディナごみ拾いウォーク (5/11、8/10)
- ・梅名史跡めぐり (9/6)

史跡めぐりでは、地元の郷土史家小泉安三さんに講師をお願いしました。

(9/6 梅名・梅縄城跡)



小学生環境探偵団



エコリーダーの中の有志が市主催の小学生環境探偵団に参加し、お手伝いをしました。

(7/28 源兵衛川チャンカケ拾い)

【編集後記】



三島市では早い時期から買物袋持参運動を進めてきましたが、なかなか持参率が上がりませんでした。しかし、今回レジ袋の有料化が進むことで買物袋の持参がさらに意識されるようになると思います。常時コンパクトなマイバッグや風呂敷を持参し、シンプルな、「中身」だけを買う、ごみは持ち込まない、環境にやさしい買物ができるとよいですね。(よ)

編集スタッフ (市民ボランティア)

飯田喜一・岩田明彦・大村洋子・河嶋禧男・佐伯忠夫・紫原俊介・
重間良子・鈴木忠宣・鈴木祥子・永嶋章吉

<http://www.city.mishima.shizuoka.jp/> (広報みしまと一緒に掲載中)

第12号 (5月・10月の年2回発行)

平成20年10月15日発行
〒411-0858 静岡県三島市中央町5-5
三島市役所中央町別館

環境政策課内

「エコライフみしま」編集事務局

TEL: 055-983-2647

FAX: 055-976-8728

E-mail: kankyou@city.mishima.shizuoka.jp

古紙配合率100%再生紙を使用しています。
この再生紙も、さらに再生可能な資源古紙です。

クイズの答え ①マイバッグ ②必要 ③包装 ④再生 ⑤環境ラベル
※エコマークは代表的な環境ラベルでエコ商品選びの参考になります。